

昭和57年度 事業の概要

本年度実施した各事業の概要を以下のとおり報告し、各位の一層の御指導と御協力をお願いします。

種苗生産技術開発研究（継続）

1 サザエ種苗生産試験

前年度に引き続き、サザエの採卵・採苗・種苗量産試験を実施した。

2 ヒラメ体色異常個体出現原因究明試験

孵化から着底期までの飼育環境と体色異常の関係を調べるため水温、照度、飼育容器について検討した。

3 ウミギク種苗生産試験及び生態調査

前年度同様、ウミギク増殖の基礎知見を得るため、種苗生産試験を実施するとともに、元島地先の分布調査を行った。

4 ハモ種苗生産試験

8月に底曳網で漁獲された親魚を購入し、陸送して、採卵・採精を行い受精を試みた。

浅海増養殖試験（継続）

1 海中造林試験

基礎試験としてカジメ幼芽の付着力試験を糸、スポンジ、塩ビパイプの3基質について実施した。

2 サザエ中間育成試験

'80年・'81年産サザエによる餌料別飼育試験、密度別飼育試験を実施した。

3 サザエ標識放流試験

加太地先に平均殻高6.3cmのもの1,888個を放流し、6ヶ月間の禁漁後追跡調査を行った。

4 ヒラメの海面小割網飼育試験

実用的な3m角小割網を使用して、6月から翌年3月末まで海面飼育試験を実施した。

5 ヒラメの標識比較試験

前年度に引き続き試験を行ったが、本年度は特にアンカータグ標識の有効性喪失に着目して実施した。

6 ヒラメの標識放流調査

田辺湾沖のヒラメの移動、分散、成長等を調べるため、'81年8月と12月にそれぞれ全長15cmと30cmの人工生産魚の標識放流を行った。

7 魚病対策指導

魚病診断件数は年々増加し、本年は151件について実施するとともに、対策指導も行った。

マダイ配合飼料実用化試験（新規）

5ヶ年事業の初年度として餌料別に4区画の小割網飼育試験を行い、成長、歩留り、体成分について調査した。

海産魚の防疫対策に関する研究（5年計画の第4年度）

器材・施設の消毒方法に関する試験研究及びブリ連鎖球菌症に関する養殖技術と魚体の感受性について疫学的調査を実施した。

魚病等実態は握指導（継続）

前年度同様、ブリの魚病診断同定試験及び医薬品残留調査を行い、併せて漁業者を指導した。

大規模増殖場開発事業（継続）

前年度に引続き、南部町堺地先のイセエビ大規模増殖場効果調査として漁獲統計、試験操業、共同操業の調査を実施した。

組織的調査研究活動推進（2年計画の第2年度）

加太地区の漁業実態を調査し、磯根漁業の資源動向を把握するとともに、問題点を摘出して対策を検討した。

関西国際空港関係

関西国際空港建設計画に関連して、日本水産資源保護協会の委託により、空港外囲護岸及び周辺域の利用について技術検討を行った。